

月刊 ゆがの通信

2019年6月号

発行：ゆがの薬局

狭心症・心筋梗塞を起す人が急増！ 早期発見と「冠元顆粒」で予防を

狭心症・心筋梗塞とは？

近年、狭心症や心筋梗塞を発症する人が増えています。発症していても胸の痛みなどの症状が必ずあらわれるとは限らないので、症状についてよく理解することが早期発見と重症化を防ぐ手立てとなります。

心臓は血管を通して全身に血液を送り働きをしています。心臓の周りは冠動脈という血管に取り囲まれていて、その中を流れる血液から酸素や栄養を受けとることで活動しています。

狭心症は冠動脈の内側にコレステロールなどが溜まって動脈硬化が進行したり、冠動脈が痙攣するなどして血液の通り道が狭くなってしまい、心臓の活動に必要な血流が足りなくなってしまうさまざまな症状が起こります。



心筋梗塞は狭くなった冠動脈に血液の塊（血栓）などが詰まり、血液の通り道が塞がれてしまい、詰まった場所よりも先に血液が流れなくなり、心臓の一部が壊死して動かなくなってしまう

った症状です。詰まる場所によっては突然死に至ることもあります。

狭心症や心筋梗塞の前兆として、身体の左側の首筋から肩甲骨の上縁あたりにこりや痛みが見られたり、人によってはこの痛みが左側の腕にそって小指側に流れることもあります。

突然死まで至らなくてもかなりの障害となりますので社会復帰には長い時間が必要となります。ですから、「予防すること」が一番重要となり、あわせて初期症状を見逃さずに早期発見と治療へとつなげていくことが重要です。

「血管力」を高める「丹参」

血管は平滑筋という筋肉で作られていて他の筋肉と同じように加齢とともに固くなります。また、血液中の赤血球も変形する能力が弱くなり、血管中をスムーズに流れることができなくなります。これらの原因により、血管が細くなったり血栓ができやすくなったり詰まりやすくなってしまいます。

そこで血管の弾力性を保ち、血液をサラサラにし、狭心症・心筋梗塞などの虚血性心疾患の予防と改善の特効薬として開発された処方「冠元顆粒（かんげんかりゅう）」です。

冠元顆粒の主成分である「丹参（タン

ジン）」には

- ・血管を拡張して血流を増やす作用
- ・血圧降下作用
- ・血栓形成を防ぐ作用
- ・血液の粘度を下げる作用
- ・血管の弾力性を保つ作用
- ・抗酸化作用

という六つの主な作用が確認されています。つまり、「血管力」を高めて、サラサラな血液を体内にめぐらせ、血管の老化を防ぐ漢方薬なのです。

さらに丹参には毛細血管の障害と関わる慢性腎臓病や糖尿病腎症を改善する効果が期待できることもわかっています。

丹参で血管力を高めて、突然の心臓病をしっかりと予防しましょう。

イスクラ産業「冠元顆粒」

（第2類医薬品）

二一包入り（十日分）

三、四二九円十税

四五包入り（二十二分）

六、七〇〇円十税

九〇包入り（四十五日分）

一、六二〇円十税



(C)イスクラ産業株式会社

「冠元顆粒」についての「ご相談」質問は店頭だけでなく、お電話でも受け付けております。

「こころがワクワクするとからだも元気に」

やる気がおこらない、イライラしやすい、心配事ばかりで不安、うつ、眠れない方
ケアバランスでこころを安定させ健康な毎日を送りましょう



1ヶ月分 8200円（税込）

ゆがの薬局

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150
当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>